

アイソレーションアンプ 20 シリーズ		
取扱説明書	小型、入力絶縁用、SIP タイプ	形 式
	アイソレーションアンプ	20VS8-202Y

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・アイソレーションアンプ1 台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

・周囲温度が $-25 \sim +85^{\circ}\text{C}$ を超えるような場所、周囲湿度が $30 \sim 90\% \text{ RH}$ を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

・配線は、ノイズ発生源（リレー駆動線、高周波ラインなど）の近くに設置しないで下さい。
 ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●取付について

・プリント基板に取付ける場合は、ランド径 $\phi 1.6$ 、スルーホール $\phi 0.8$ の穴を推奨します。

●その他

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。
 ・出力端子間を長時間短絡することは避けて下さい。破損することはありませんが、発熱によって寿命を縮める恐れがあります。

ご注意事項

●供給電源

・許容電圧範囲、消費電流
 定格電圧 $15 \text{ V DC} \pm 5\%$ 、約 7.5 mA （無負荷時）

●設置について

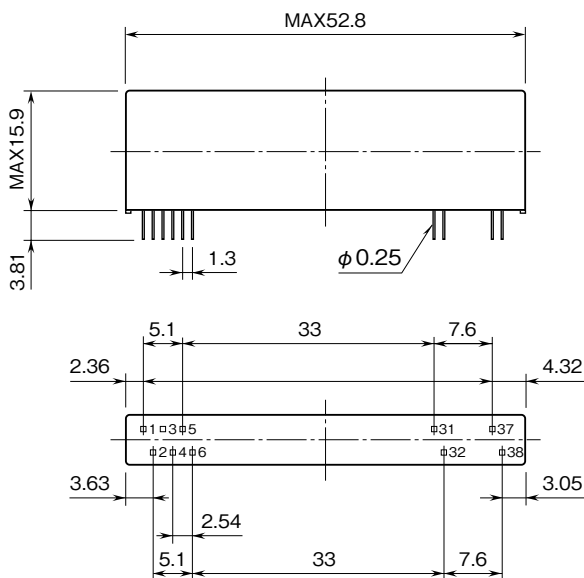
・屋内でご使用下さい。
 ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。

点 検

- ①端子接続図に従って結線がされていますか。
- ②供給電源の電圧は正常ですか。
- ③入力信号は正常ですか。
 入力値が $0 \sim 100\%$ の範囲内であれば正常です。
- ④出力信号は正常ですか。
 負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

接 続

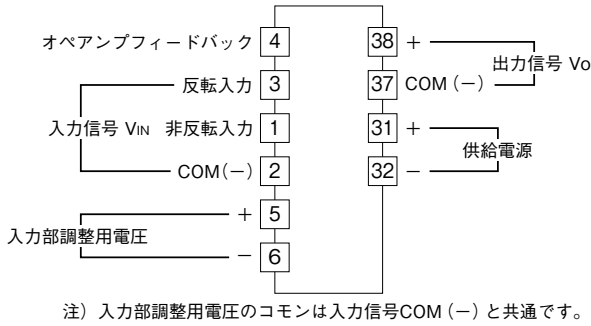
外形寸法図（単位：mm）・端子番号図



ピン配列

1	非反転入力
2	入力信号 COM(-)
3	反転入力
4	オペアンプフィードバック
5	入力部調整用電圧(-)
6	入力部調整用電圧(+)
31	電源 (+)
32	電源 (-)
37	出力信号 COM(-)
38	出力信号(+)

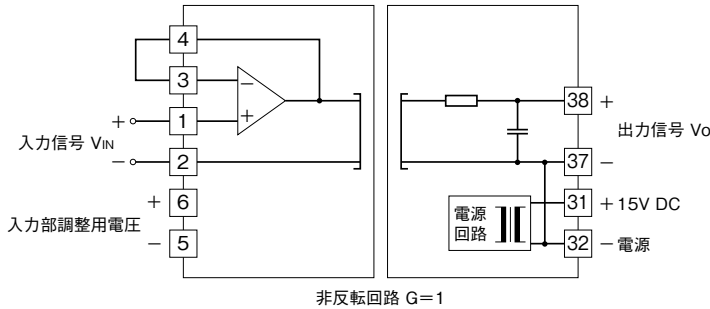
端子接続図



回路事例

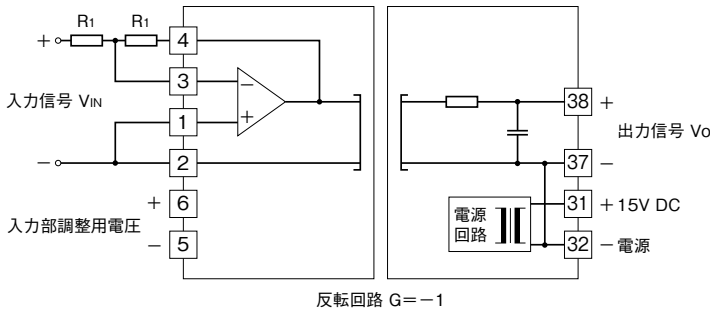
本器の初段には、高精度のオペアンプが内蔵されています。オペアンプの一端子（3ピン）およびオペアンプのフィードバック端子（4ピン）に外部の抵抗器を付けることで、非反転、反転、増幅などの回路を作ることができます。回路事例内で、オペアンプの端子に付く抵抗器の $R1 + R2$ は、 $10\text{ k}\Omega$ 以上、 $1\text{ M}\Omega$ 以下にしてください。

■非反転増幅回路：非反転増幅回路の基本回路例 $G=1$



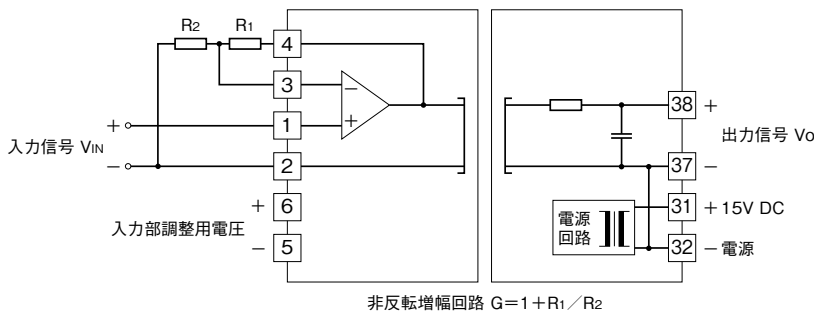
入力信号 $\pm 5\text{ V DC}$ が出力信号 $\pm 5\text{ V DC}$ として出力されます。ゲインは 1 となります。

■反転増幅回路：反転増幅回路の基本回路例 $G=-1$ （入力に対して出力は反転します。）



入力信号 -5 V DC で出力 $+5\text{ V DC}$ 、入力信号 $+5\text{ V DC}$ で出力 -5 V DC と反転された信号が出力されます。ゲインは -1 となります。

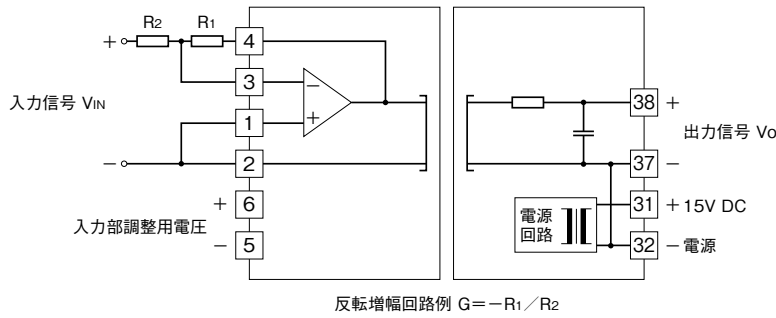
■非反転増幅回路：非反転増幅回路例 $G=1+R1/R2$



非反転増幅する場合、 $V_o = (1 + R1/R2) \times V_{IN}$ となります。 $R1 = 10\text{ k}\Omega$ 、 $R2 = 10\text{ k}\Omega$ とした場合、 $V_o = 2 \times V_{IN}$ となります。ゲインは 2 となります。

20VS8-202Y

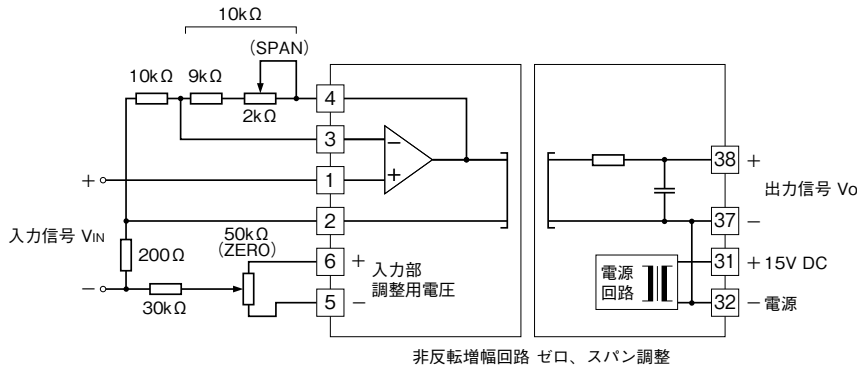
■反転増幅回路：反転増幅回路例 $G = -R_1 / R_2$ (入力に対して出力は反転します。)



反転増幅する場合、 $V_O = -(R_1 / R_2) \times V_{IN}$ となります。

$R_1 = 20 \text{ k}\Omega$ 、 $R_2 = 10 \text{ k}\Omega$ とした場合、 $V_O = -(20 \text{ k}\Omega / 10 \text{ k}\Omega) \times V_{IN} = -2 \times V_{IN}$ となります。
ゲインは-2となります。

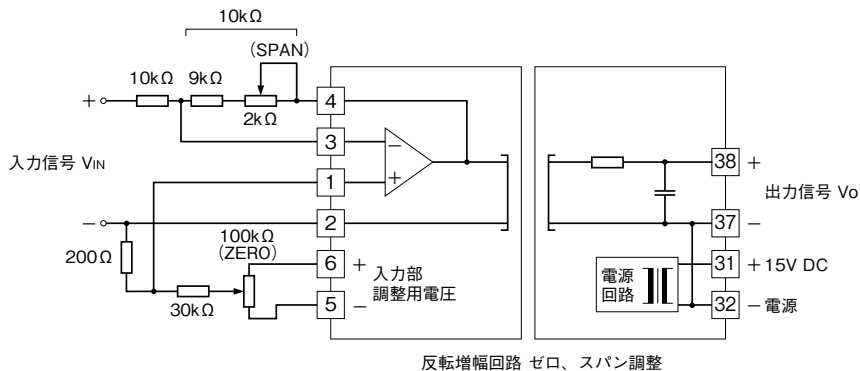
■非反転増幅外部調整回路：非反転増幅回路のゼロ、スパン調整回路例 $G=2$



非反転増幅回路でゼロ、スパン調整を付ける場合、スパンアジャスタと $9 \text{ k}\Omega$ の合成抵抗が $10 \text{ k}\Omega$ として、ゲインは $(1 + 10 \text{ k}\Omega / R_2) \times V_{IN}$ となります。

スパンアジャスタにて出力を増減できます。
ゼロアジャスタは入力部調整用電圧と、 200Ω および $30 \text{ k}\Omega$ の分割でゼロ調整できます。

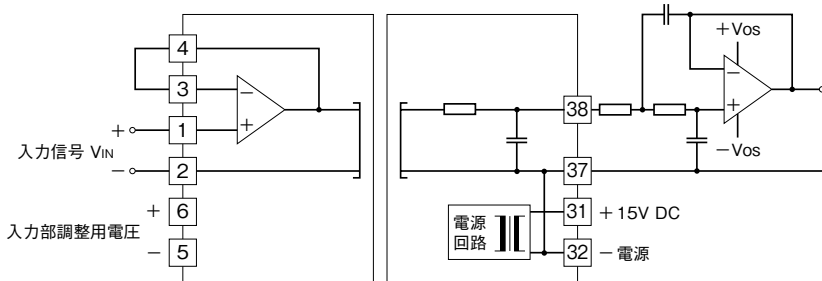
■反転増幅外部調整回路：反転増幅回路のゼロ、スパン調整回路例 $G=-1$ (入力に対して出力は反転します。)



反転増幅回路でゼロ、スパン調整を付ける場合、スパンアジャスタと $9 \text{ k}\Omega$ の合成抵抗が $10 \text{ k}\Omega$ として、ゲインは $-(10 \text{ k}\Omega / R_2) \times V_{IN}$ となります。

スパンアジャスタにて出力を増減できます。
ゼロアジャスタは入力部調整用電圧と、 200Ω および $30 \text{ k}\Omega$ の分割でゼロ調整できます。

■非反転増幅回路：ノイズ除去フィルタを追加した回路例



出力側にローパスフィルタを追加した回路です。

保 守

定期校正時は下記の要領で行って下さい。

■校 正

10分以上通電した後、入力信号を0、25、50、75、100%順で本器に与えます。このとき出力信号がそれぞれ0、25、50、75、100%であり、規定の精度定格範囲内であることを確認して下さい。

保 証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。